

第30期(2005年度)日本ガスタービン学会賞審査報告

第30期学会賞審査委員会委員長 伊藤 高根

日本ガスタービン学会では、ガスタービンおよび過給機に関連する工学および技術の発展を奨励することを目的として優れた論文および技術に対して、2年に一度学会賞を贈り表彰をしております。学会賞には論文賞、技術賞ならびに奨励賞があります。

2005年度はその表彰の年にあたり、2005年度学会誌9月号の会告ならびにホームページを通じて学会賞候補の募集を致しました。今回は2001年12月以降2005年11月までに公表された技術、論文が対象となります。すなわち、論文賞・奨励賞候補としてはこの間に学会誌に技術論文として掲載された論文および2003年国際ガスタービン会議東京大会Proceedings等に掲載された論文、技術賞候補としてはこの間に完成した画期的な新技術を対象として、2005年11月30日を応募期限として募集を行いました。その結果、自薦、他薦を含めて論文関係が10件、技術賞関係が3件、合計13件の応募がありました。

学会賞審査委員会を組織して、委員長以下14名の委員により1次審査、2次審査の2段階方式の審査を行い、また技術賞に関しては書類審査のほかにヒアリングを実施しました。慎重な審査の結果、学会賞審査委員会として論文賞2件、技術賞2件、奨励賞2件(2名)を理事会に推薦することに致しました。

理事会において審議の結果、学会賞審査委員会から推薦した受賞候補がすべて承認され、次に示す通りの授賞が決定されました。

[技術賞]

1. 次世代超音速輸送機用推進システムの低NO_x燃焼技術

藤綱義行(ESPR組合), 林 茂
(JAXA), 木下康裕(川崎重工), 小林健児(石川島播磨重工), 中江友美(三菱重工)

2. 加圧型MCFC/MGTハイブリッドシステム

畦上 修(豊田中研), 岡林慶一
(トヨタタービンアンドシステム)
(株)トヨタ自動車, 石川島播磨重工業
(株)

[論文賞]

1. Studies on Effects of Periodic Wake Passing upon a Blade Leading Edge Separation Bubble: Transitional

Behaviors of Separated Boundary Layer,

船崎健一（岩手大），山田和豊（岩手大），加藤能規（石川島播磨重工）

（Proceedings of IGTC ' 03
Tokyo, TS-069）

2. スマート構造を用いた翼列フラッターの能動制御

—第2報： piezo素子を用いた制御法の検討—

賀澤順一（東大），渡辺紀徳（東大）

（日本ガスタービン学会誌 33巻4号
2005年7月）

[奨励賞]

1. 岩瀬 識（JAXA）

高圧チップタービン駆動ファン

（日本ガスタービン学会誌 33巻1号
2005年1月）

2. 若林 努（大阪ガス）

ガス燃料の自動配分機構を備えた産業用ドライ低NO_xガスタービン燃焼器の改良

（日本ガスタービン学会誌 33巻3号
2005年5月）

[トップページに戻る](#)